



10月のBS8K 主な番組

「国宝へようこそ」

★第1集「法隆寺」

10月13日(日) 午後9:00~9:45

[BS4K: 10月12日(土) 午後8:15~9:00]

38の国宝を所有する「法隆寺」。西院伽藍には国宝の金堂、五重塔、伽藍を囲む回廊など世界最古の木造建築物が建ちならぶ。1300年間雨風に耐えてきた建築物には、人々が寺を守り続けてきた痕跡を見ることができる。金堂内には多くの仏像が安置され、中でも聖徳太子の冥福を祈ってつくられた神秘的な微笑を持つ国宝・釈迦三尊像からは、聖徳太子を深く信仰する当時の人々の思いがうかがえる。仏教が日本に根付いた初期の寺の姿を、ほぼ完全な姿で伝え、今も現役の寺として生き続けている法隆寺。その奇跡の姿を8K映像で存分にお届けする。



★第2集「洛中洛外図屏風」

10月20日(日) 午後9:00~9:45

[BS4K: 10月19日(土) 午後8:15~9:00]

天才絵師・狩野永徳が若き日に描き、織田信長が上杉謙信に贈った「洛中洛外図屏風」。そこには戦国時代の京都の町と、そこに生きる2500人も老若男女が生き生きと描き出されている。中でも庄巻は祇園祭の山鉦巡行。8Kの高精細画像で初めて発見できた微細な描写も。「動く美術館」とも呼ばれる山鉦に、永徳が描いたものが残っていないか？各山鉦保存会の協力を得て、祇園祭の最中に大調査。今も伝わる“あるもの”を見つけることに成功。そこには永徳がこの屏風に込めたメッセージを読み解くヒントがあった…。戦が続く京の町に生きた人々は、どんな思いをもっていたのか？金色の洛中洛外図ときらびやかな祇園祭、8Kならではの至極の映像コラボ。



語り：余 貴美子（俳優）

渡辺謙 「浮世の画家」

カンヌで8K プレミア上映

NHK は、10月14-17日にフランス・カンヌで開かれるコンテンツ見本市 MIPCOM で、初めての大型8K 上映を実施します。大型スクリーンと22.2ch サラウンド音響システムで、8K の臨場感を体感できる上映会場を設置し、ドラマ「浮世の画家」など8K コンテンツを世界に向けて発信します。

ノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロ原作のドラマ「浮世の画家」8K プレミア上映では、主演の渡辺謙さんがレッドカーペットに登場します。舞台挨拶で、ドラマの見どころや8K だからこそ表現できる世界観について語ります。



この他、世界の8K 制作者たちによるトークイベントも開催します。世界的な動物カメラマンや音楽番組プロデューサーなど NHK とともに8K 制作に取り組むクリエイターたちが、最新の映像を交えて、8K によって飛躍的に変わる映像表現について語ります。

■8K ドラマ「浮世の画家」

2017年度ノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロの出世作を8K で映像化。

舞台は終戦後の日本。焼け跡から徐々に復興の姿を見せていく街の中、一人の老画家の人生を通し、人の心の弱さから生まれる「悲劇」、そして思い違いから生まれる「喜劇」。繊細で緻密な独特の世界観を、丁寧に描き出す。

再放送予定： BS8K 10月20日（日）午後1：30～2：59



■MIPCOM とは

毎年10月にフランス・カンヌで開かれる、世界最大級のコンテンツ見本市。世界の放送局や配信、配給会社などが一同に会し、新作の上映やプロモーションを行い、業界の新しいトレンドが発表される。昨年は、110の国と地域から1万3800人が参加。



MIPCOM2018